



愛腎協 かわらばん

患者の、患者による、患者のための愛腎協

第 173 号 編集：(一社)愛知県腎臓病協議会事務局 発行：令和 2 年 1 月 15 日

2020 年 年頭あいさつ

新年あけましておめでとうございます。

本年も昨年と同様、愛知県の透析患者の「生命と暮らしを守る」活動を進めてまいりたいと思います。

皆様のお一人ずつの力が無ければ、患者会として行政へ訴える力を失います。どうか、皆様のご協力を本年もよろしくお願い申し上げます。

愛腎協事務局一同

東栄町長への陳情を実施しました。

12 月 3 日(火)13 時 30 分より村上孝治東栄町長へ、東栄医療センター人工透析室継続を訴える陳情を実施し、5,047 筆の陳情署名を提出しました。

9 月に医療スタッフ不足を理由に東栄医療センターの人工透析室閉鎖の話が出て以降、愛腎協は地域の腎友会である新城地域腎友会、さらに東栄医療センターにて透析を受ける愛腎協会員と共に署名活動を行ってきました。

多くの支援とご理解の上、東栄町民 3,359 名を超える 5,047 筆の署名を各地から集める事が出来ました。(うち東栄町民の署名は 1,069 名)



村上町長へ陳情を行う東栄医療センターの透析患者達



東栄フェスティバルでの署名活動

この東栄町から透析施設を無くしたくないという東栄医療センターの患者さんと家族の願いが詰まった署名を新城地域腎友会会長の長谷川喜一さんを筆頭に、東栄医療センターへ通う患者さん達と支援者並びに愛腎協からは奥村清高会長を始め理事役員 4 名が、村上孝治町長へ東栄医療センター透析室の継続をして頂ける様に訴えました。その様子は各テレビ局と新聞各紙にも取り上げられました。

しかし、村上孝治町長よりは「透析を将来に向けて安全に実施することが困難であり、やむなく廃止の判断をした。住民に丁寧に説明をして理解をもとめたい」旨と、「患者にできる限りのサポートをしたい」との答えだけでした。

今後も、愛腎協として支援を続けていく予定です。

防災体験研修会が行われました。

12月17日(火)名古屋市港防災センターにて愛腎協災害対策委員会主催の愛腎協役員を対象にした防災体験研修会が行われました。



防災体験研修会 風景

13時30分からの約2時間の中で、まず防災体験ツアーとして「地震・伊勢湾台風3D映像・煙避難体験」があり、迫力ある3D映像に思わず声と共に体

が反応してしまうほどで、煙の中での避難体験は本当に先が見えず怖かったと体験した参加者からは感想がありました。その後に行われた、防災教育アドバイザーの近藤ひろ子先生の「防災トーク～もしもの時に備えていっしょに考えよう～」のお話の中では、過去に起きた地震や過去に起きた各地での災害について説明してもらい実際の災害にあった時の注意点、非難する場合の注意点、さらに避難生活になった時に気を付ける事を教えて頂きました。

その他の活動報告

- ★12月8日(日):第3回女性セミナー(尾張一宮駅前ビルiビル2階大会議室)
- ★12月10日(火):12月度業務執行部会議(白壁庁舎5F県会議室)
- ★12月15日(日):第3回広報委員会(白壁庁舎5F県会議室)
- ★12月15日(日):CKD対策講演会 in 北区(名古屋市福祉総合会館7F会議室)

今後のスケジュール

- ◎1月14日(火):1月度業務執行部会議(白壁庁舎5F県会議室)
- ◎1月19日(日):第2回組織強化委員会(市政資料館第2集会室)
- ◎1月26日(日):第4回青年部会議 & 座談会 in 江南
(江南ふれあい会館第2会議室)
- ◎2月1日(土)・2日(日):東海ブロック青年交流会 in 三重(桑名)
- ◎2月2日(日):第3回50周年記念事業実行委員会(市政資料館第2集会室)

愛腎協 50 周年記念大会まで
319日